



地元食材にこだわった「里山ランチ」の試食会。冬場の大谷観光の目玉にしたい考えだ＝4日午前、宇都宮市内

大谷石産業

「石材」「食湯」コラボ

冬の集客へ楽しみ方提案

大谷石採掘加工販売落ち込むという。

の大谷石産業(宇都宮市大谷町)は、ろまんちつく村を運営するフ

アーマーズ・フォレスト(同市新里町)と連

携し、冬場の集客企画

を舞台にした体験型ツ

アープランと、地元食

材にこだわった「里山

ランチ」を提供。石材

とグルメを組み合わせ

た新しい楽しみ方を提

案する。

冬場の大谷地区は、

夏や紅葉シーズンに比

べ観光客が3分の1に

落ち込むという。

体験型プランは、採

石場跡地を活用した大

谷資料館を見学後、大

谷石産業で大谷石製コ

ースターの絵付けを体

験する。里山ランチ、

ろまんちつく村の温泉

入浴券付き。インター

ネットの旅行予約サイ

ト「じゃらん」で販売

する。参加費は1人3

100円。3月1日ま

でで今月6日から申し

込みを受け付ける。

1日から提供を始め

た里山ランチは、ネギ

やユズなど同市北西地

区産の食材にこだわ

り、おにぎり、焼きそ

ばの2種類(各1千

円)。みそ汁やデザー

トなども付く。大谷石

体験館で提供する。冬

季限定だが、春以降も

季節の食材を活用した

ランチを続ける考え

だ。

4日は里山ランチの

試食会が開かれ、地元

の観光ガイドら5人が

参加。「焼きそばは大

谷名物にしてほしい」

「飲食店が少ないので

観光客にお薦め」など

と好評だった。

大谷石産業の飯村

淳。営業部長は「地元

にこだわったグルメを

売り出し、集客につな

がれば」と期待を寄せ

た。(石崎倫子)